



佐賀ん町づくりの原点、一挙大公開。

御城下絵図に見る 佐賀のまち

Look at the Castle Town SAGA
with the Help of GOJOUKAEZU Map!

御城下絵図

ごあいさつ

江戸時代初めの慶長13年(1608)。

鍋島直茂・勝茂父子により佐賀城の総普請が始まり、
小路や町が設けられ、城下町佐賀が整備されたと言われています。
5年前に県立佐賀城本丸歴史館が開館し、
佐賀城の研究が徐々に進展してきましたが、
城下町については手付かずのまま今日に至っています。

その要因の一つは御城下絵図^{ごじょうかみず}が様々な理由から
展示公開されてこなかったことにあります。
御城下絵図に表された情報は
佐賀城下の歴史を知る上で欠くことのできないものであり、
今後の歴史・文化を活かしたまちづくりを行う上でも
参考にすべきものでしょう。

本年は、佐賀城天守閣が完成して400年に当たりますので、
当財団所蔵の絵図を中心に公開する展示を企画しましたが、
4月に応募しました市民団体との連携による
「御城下絵図を読み解く 一幕末さが城下まちづくり構想」が、
「平成21年度 文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業」に採択され、
この支援事業の一環として本展を開催する運びとなりました。
屋敷帳^{やしきちょう}や竈帳^{かまどちょう}と合わせて、皆様と共に読み解いていければ、
この上もない成果となることでしょう。

さいごに、本展覧会は多くの方々のご協力により開催にこぎつけましたこと、
心より御礼申し上げます。

近世社会を反映する絵図として、一部に現在では不適切と考えられる表現がありますが、
資料の歴史的価値に鑑み、そのままとしました。

平成21年 9 月

財団法人鍋島報効会

鍋島報効会は、本展開催時は財団法人でしたが、
平成25年4月1日に公益財団法人へ移行しました。



目次

ごあいさつ	1
目次・凡例	2
図版・解説	4
◆ 御城下絵図	4
◆ 城絵図・町絵図	24
佐賀城内今昔	46
出品リスト	47

凡例

一、この図録は、財団法人鍋島報効会(平成25年4月1日以降は公益財団法人鍋島報効会)が主催し、平成21年9月14日(月)から11月21日(土)まで徴古館において開催した第47回企画展「御城下絵図に見る佐賀のまち」展の解説付き総目録である。第2版として企画展開催以後の知見も付加し増補改訂した。

一、資料の順序は各テーマに従って配列しており、陳列の順序とは必ずしも一致しない。

一、資料解説の表記は、出品番号、名称、員数、時代・年代、法量、品質・形状、所蔵者、解説の順に記した。

一、公益財団法人鍋島報効会所蔵で、佐賀県立図書館寄託の鍋島家文庫資料については、(鍋113-92)などのように請求番号を付した。

一、解説文中の史料引用は、漢字を平仮名にするなど適宜表記を改め、読み下し文にして送り仮名を補ったところがある。

一、編集は公益財団法人鍋島報効会(副館長 藤口悦子・学芸員 富田紘次)が行い、執筆・製作は富田紘次が行った。

一、図版の写真撮影は、株式会社とっぺん、久我秀樹(久我写真事務所)、富田紘次が行った。



佐賀御城下絵図

The Map of Castle-town SAGA

佐賀城下の住宅地図である御城下絵図には、この町の豊かな歴史が詰まっています。

佐賀城下は、武家地(小路)と町人地(町)という二つの区域から成り立っていますが、御城下絵図には、武家地に居住する藩士名・役所名・寺社名など約1,000件の情報が詳細に記されています。

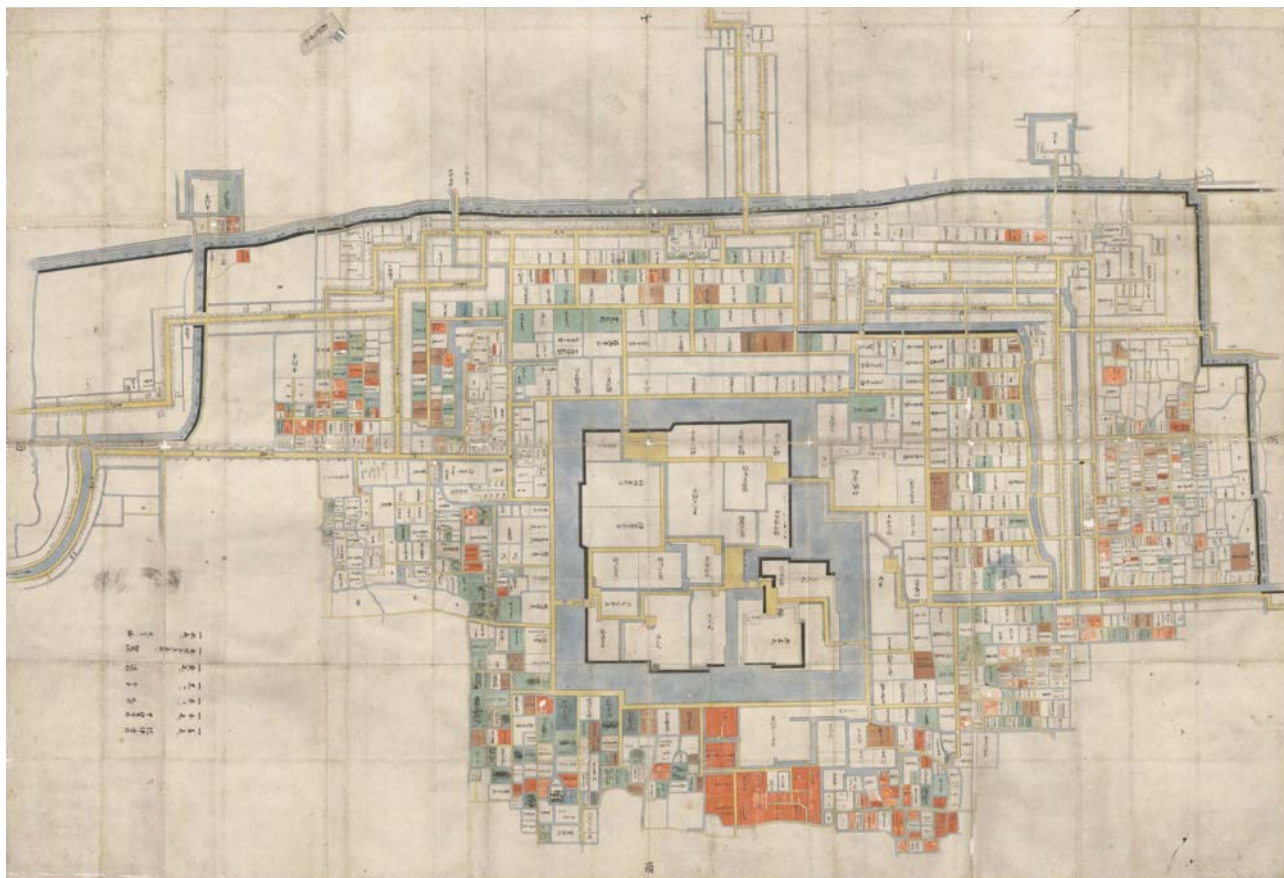
一方の町人地には、原則として居住者名は記されていないものの、町屋の家並みが描かれた上で、町名やその範囲が示されています。

このほか、道路や堀川、土手などが着色や絵画表現により表され、この町のすがたを鳥瞰できる、唯一無二の資料です。

御城下絵図は、城下建設が行われた慶長年間以降、寛永・正保・慶安・承応・元文、そして文化までの7種類が佐賀藩主鍋島家に伝来し、現在は公益財団法人鍋島報効会(徴古館)が所蔵しています。

6 | 1649 慶安御城下絵図

1舗 慶安2年(1649) 縦215cm 横315cm 公益財団法人鍋島報効会所蔵



「慶安御城下絵図」と呼ばれる3点が残されているが、そのうち本図には、当初のものと思われる「慶安二年 御城下絵図 御境目方」の題書と、別筆による「慶安貳年五月十五日」の添書がある。また屋敷地内の居住者名には、墨書の抹消、抹消した上での訂正、貼り紙による訂正や、摩耗により文字判読が困難なものが散見される。これらのことから、本図が慶安2年(1649)に作成された原本の可能性があり、残る2点は後年の書写本とみられる。

原本の可能性のある御城下絵図としては、寛永御城并小路町図(出品資料No.4)以来のものであり、実態を表した住宅地図としては最古のものである。まず武家地の特徴としては、いくつかの屋敷地が色分けされている点が挙げられ、これは本図と承応佐賀城廻之図(出品資料No. 7)だけに見られる。絵図左下に記された凡例から、「青色ハ 紀伊守

内」(小城鍋島家の家臣)、「香色ハ 甲斐守内」(蓮池鍋島家の家臣)を示し、「赤キハ 又内」とあるのは小城・蓮池以外の大身家臣の家臣であることを示している。

町人地については、本図には26町名が確認できる。本図の5年後に作成される承応3年(1654)の承応佐賀城廻之絵図は、町名のほかに各町の長さや竈数(世帯数)、御免地数、隣町との境界線まで書き込んでいる唯一の絵図であり、当該時期に町人地の再編成が行われた様子がうかがわれる。それに対し、慶安御城下絵図以前の絵図で、唯一町名を記す正保御城下絵図(資料出品No.5)には6町しか確認されないため、26町名を記す慶安御城下絵図は、承応期の改変以前における町人地を知る上で重要である。たとえば承応期以降、伊勢屋本町となる地域に「野菜町」、下今宿町となる地域に「下今宿津町」とあるのは慶安絵図独特の町名である。

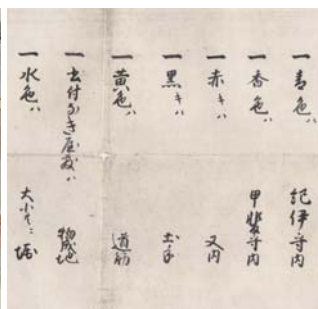


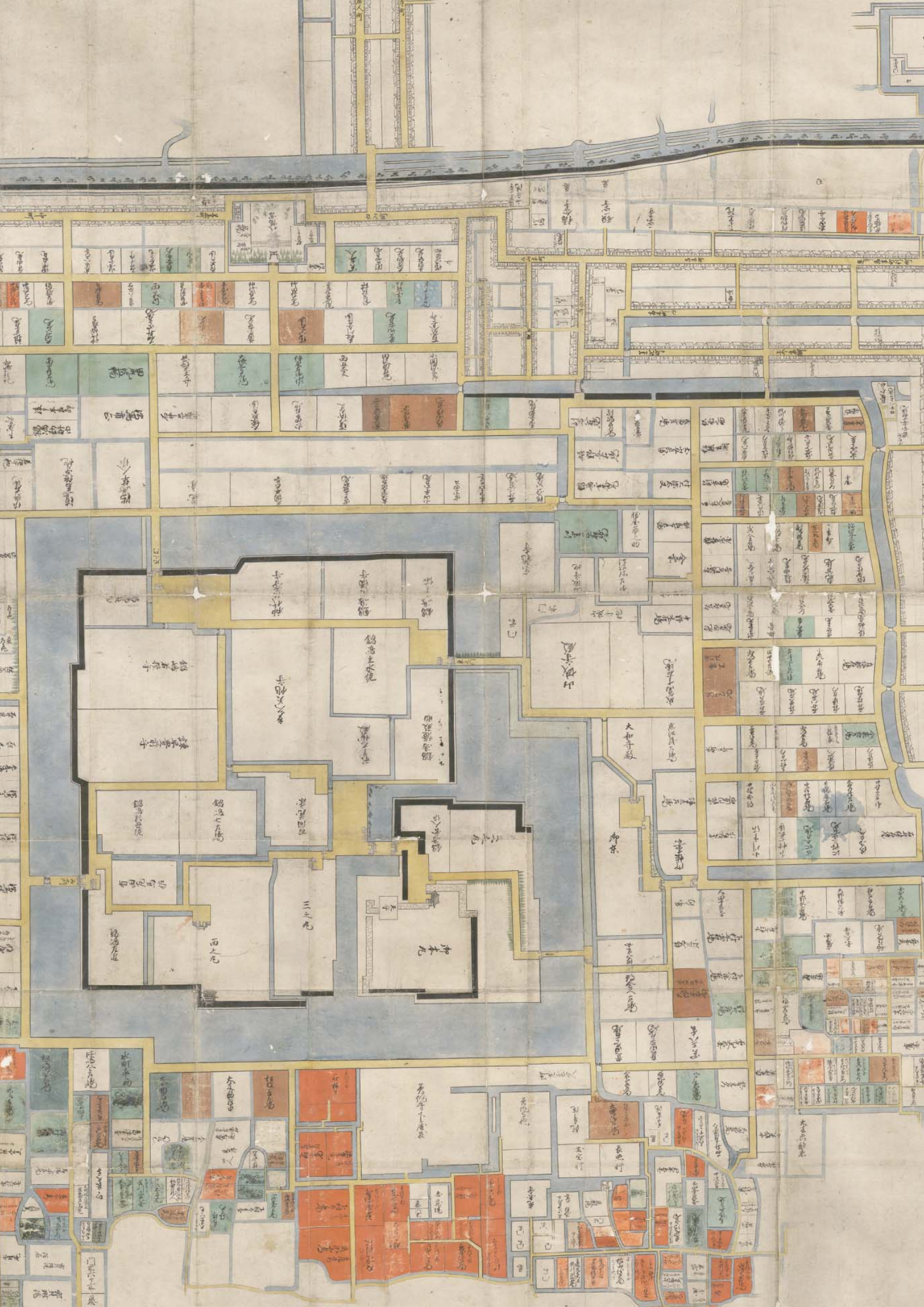
慶安御城下絵図のココに注目

カラフルな色分け!!

三家はじめ重臣の家臣も佐賀城下に居住

小城鍋島家の家臣は「青」(緑)、蓮池鍋島家の家臣は「香」(茶)、又内は「赤」の色分け。又内は多くの場合、居住者名の肩部に「美作守内」(多久)、「伯耆守内」(神代)、「豊前守内」(諫早)、「若狭守内」(武雄)などと記し、どの家の家臣であるかも明示されている。このことから、江戸時代前期には三家の藩士らも佐賀城下に居住していたことが視覚的に知られる。





19 呉服町・元町 呉服町・元町絵図

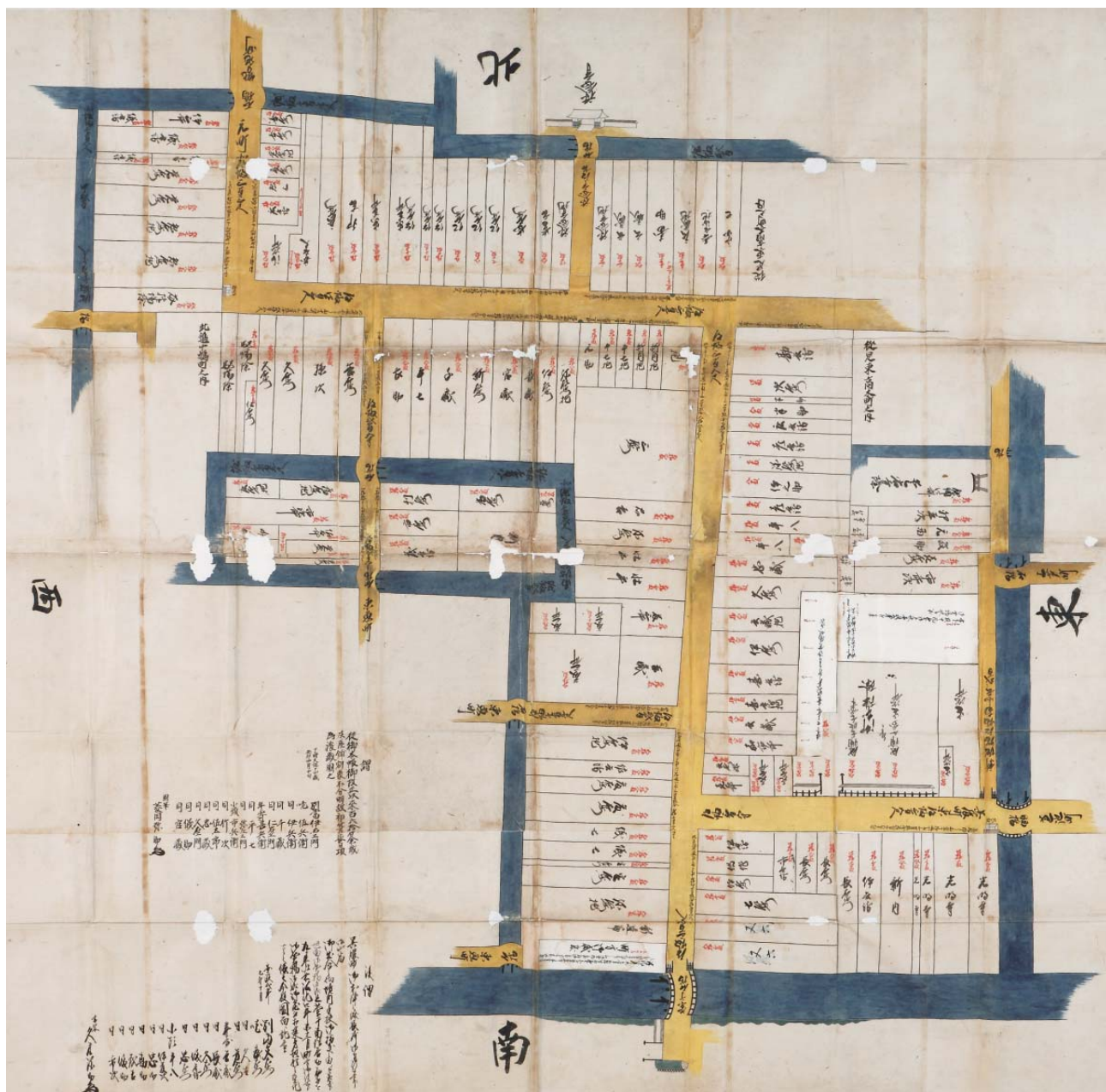
1舗 天保14年(1843) 縦200cm 横200cm 個人蔵

長崎街道沿いに発達した呉服町と元町について、道路や水路とその幅(間尺数)、橋梁、屋敷割・地番とその世帯主や寺社名等を記した絵図。天保14年(1843)、「御本帳御改正以来、百六拾有余歳に及び屋舗割象不分明」であるゆえに、別当伊右衛門らによって作成されたことが「謂」と題された記述からわかる。

長崎街道は絵図右下に架かる晒橋から西へ進んで突き当りを北へ折れ、さらに西へ、北へと折れて勢屯町(絵図左上)へと続く。隣接する各町への通筋が交差する道路が複雑に入り組んでいるが、屋敷地の間口(世帯主名の文字の頭の向きが間口の向きを表す)は基本的に長崎街道に面し

ている。最も間口の大きい「六拾六番 三左衛門」は、嘉永7年の竈帳(出品資料No.16)によれば間口約15間を誇り、質店・銀判屋を営む中元寺三左衛門の屋敷地である。

晒橋の西には冠木門をもつ「御本陣」が表されている。本陣は幕府の使者などが使用する宿泊・休憩施設で、長崎奉行などが下向の折にもここが利用され、本図南端に架かる「欄干石橋」を渡ってすぐの位置にあった欄干御茶屋で佐賀藩主と面会することもあった。のち安政2年(1855)には本陣敷地が手狭なため西側と北側の隣接地11ヵ所が御買揚または御献地されたことが、当該屋敷地に貼られた懸紙と左下の「後謂」と題された記述から知られる。



三

丁

六

從兄東商木街之序

生老疾

元西

改

在後

市赤旅

本堂設於...

...

...

...

...

光

光

光

新

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

出品リスト

24	青磁麒麟置物	一基	江戸時代（一八世紀）	高さ六九・五cm	公益財団法人鍋島報効会
23	鉄自在龍置物	一基	江戸時代（一八世紀）	全長三五・七cm	公益財団法人鍋島報効会
22	観願荘図	一卷	江戸時代後期（一八一―一九世紀）	縦六三・cm 横一四〇・cm	公益財団法人鍋島報効会
21	藩祖直茂公二百五十年祭礼之図	一卷	慶応三年（一八六七）	縦二二・cm 横一三〇・cm	佐賀県立図書館（郷〇一八五 県〇五一―一九三九）
20	紺屋町絵図	一舗	天保一五年（一八四四）	縦一九二・cm 横六四・cm	公益財団法人鍋島報効会
19	呉服町・元町絵図＊	一舗	天保一四年（一八四三）	縦二〇〇・cm 横二〇〇・cm	個人
18	勢屯町・白山町・米屋町絵図	一舗	享保一二年（一七二七）	縦九一・cm 横二五〇・cm	個人
17	御用唐人町荒物唐物屋職御由緒書	一冊	天保一三年（一八四二）	縦二六・三・cm 横一八・六・cm	公益財団法人鍋島報効会（鍋六三三十一）
16	籠帳	三二冊	嘉永七年（一八五四）	縦二六・九・cm 横一八・六・cm	公益財団法人鍋島報効会（鍋三二六十一―三二六十二）
15	泰国院様御年譜地取	二冊	江戸時代後期（文化―文政年間）	縦二六・三・cm 横一八・六・cm	公益財団法人鍋島報効会（鍋一一三補二八）
14	御城分間絵図＊	一舗	寛政八年（一七九六）	縦一五六・cm 横一六六・cm	公益財団法人鍋島報効会
13	佐嘉小城内絵図＊	一幅	江戸時代後期書写 原図は慶長年間（一六一〇年頃）	縦九七・cm 横一〇一・cm	公益財団法人鍋島報効会
12	肥前国佐賀城覚書（有田均家御書類写所収）	一冊	江戸時代後期 原本は正保四年（一六四七）	縦二六・二・cm 横一八・五・cm	公益財団法人鍋島報効会（鍋〇一五―一六）
第二章 ◆ 城絵図・町絵図					
11	佐賀市街明細地図＊	一舗	明治一九年（一八八六）	縦四八・二・cm 横七一・五・cm	個人
10	文化御城下絵図	一幅	文化七年（一八一〇年）頃	縦一〇二・cm 横一四二・cm	公益財団法人鍋島報効会
9	城下大曲輪内屋敷帳	五冊	元文五年（一七四〇）	縦三〇・八・cm 横二二・六・cm	公益財団法人鍋島報効会（鍋八三三十一）
8	元文佐賀城廻之絵図	一舗	元文五年（一七四〇）	縦二二・cm 横二九〇・cm	公益財団法人鍋島報効会
7	承応佐賀城廻之絵図＊	一幅	承応三年（一六五四）	縦二二〇・cm 横三二〇・cm	公益財団法人鍋島報効会
6	慶安御城下絵図	一舗	慶安二年（一六四九）	縦二一五・cm 横三二五・cm	公益財団法人鍋島報効会
5	正保御城下絵図＊	一幅	天保三年（一八三二）書写 原図は正保年間（一六四四―四八）	縦一〇五・cm 横一五五・cm	公益財団法人鍋島報効会
4	寛永御城并小路町図	一舗	寛永三年（一六二六）	縦一〇七・cm 横二六一・cm	公益財団法人鍋島報効会
3	慶長御積絵図＊	一幅	江戸時代後期書写 原図は慶長一四一五年（一六〇九―一〇頃カ）	縦一四九・cm 横二五二・cm	公益財団法人鍋島報効会
2	勝茂公御年譜	二冊	享保年間（一七一六―一七三六）成立	縦二六・二・cm 横一八・五・cm	公益財団法人鍋島報効会（鍋一一三九二）
1	勝茂公譜考補	一冊	天保一四年（一八四三）成立	縦二六・二・cm 横一八・五・cm	公益財団法人鍋島報効会（鍋▲▲▲）
第一章 ◆ 佐賀御城下絵図					

*印はパネル展示

謝 辞

本展開催および本図録作成にあたり貴重なご所蔵品をご出品頂き、またご協力・ご助言頂きました下記の関係機関、関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。
(敬称略・50音順)

佐賀県立図書館

佐賀県立博物館・美術館

佐賀市教育委員会文化振興課

石橋 道秀

古賀 章彦

中村 久子

福井 尚寿

本多 美穂

庄野 辰一

中溝

高尾

御城下絵図に見る佐賀のまち

編集・発行 公益財団法人鍋島報効会
〒840-0831
佐賀市松原2丁目5-22
TEL 0952-23-4200
URL <http://www.nabeshima.or.jp>

発行年月日 平成21年9月21日 第一版
平成27年4月1日 第二版(増補改訂版)

印 刷 (株)佐賀印刷社

本書の全部または一部を無断にて転載・複製することを禁じます。
©2015 公益財団法人鍋島報効会

鍋島報効会は、本展開催時は財団法人でしたが、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行しました。

Castle Town
SAGA



徴古館

The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA